



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社ラック 上場取引所 東
 コード番号 3857 URL http://www.lac.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高梨 輝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 財務経理本部長 (氏名) 藏重 久則 TEL 03-6757-0100
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	23,519	0.6	1,074	△10.5	982	△9.5	444	△18.1
25年3月期第3四半期	23,386	1.0	1,200	23.3	1,086	32.6	542	606.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 668百万円 (30.5%) 25年3月期第3四半期 512百万円 (924.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	17.50	—
25年3月期第3四半期	20.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	17,905	6,518	36.3	256.40
25年3月期	19,250	6,194	32.0	243.10

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 6,506百万円 25年3月期 6,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	8.00	12.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	4.4	2,100	5.1	1,950	5.4	1,000	9.6	39.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	26,683,120株	25年3月期	26,683,120株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,307,290株	25年3月期	1,305,440株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	25,376,827株	25年3月期3Q	25,378,335株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 連結業績及び連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る数値です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀のデフレ脱却と持続的な経済成長の実現に向けた積極的な経済・金融政策により円安・株高が継続しており、景気は穏やかな回復基調で推移しました。

情報サービス業界では、システム開発や関連商品販売などにおいて案件の小型化や提供サービス価格の低減要請が見られるものの、景気回復による業績の改善から企業のIT投資は、金融をはじめ大企業を中心に回復傾向が見られたうえ、情報セキュリティ対策への需要は、引き続き堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社は、KDDI株式会社との事業拡大に向けた業務・資本提携を強化するとともに、複雑かつ巧妙化するサイバー攻撃の脅威に対応するため、「サイバー・グリッド・ジャパン」構想のもと、アズビルセキュリティフ라이デー株式会社、株式会社セキュアブレインとの連携や、米FireEye社製品を活用した新サービスの提供を開始するなど、事業基盤の拡充に努めてまいりました。また、セキュリティ情報に関する注意喚起の発信やラックレポートなどの発行により、大切な情報やシステムをIT技術を活用して守るための啓発活動に取り組んでまいりました。

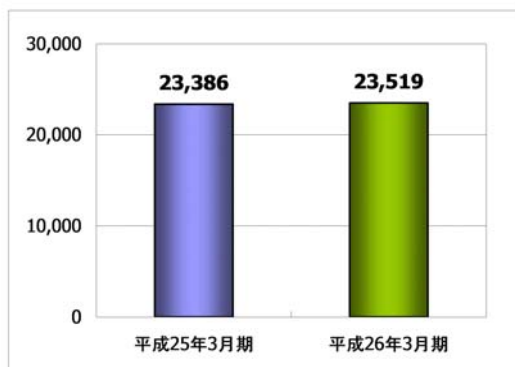
当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は減収であった第2四半期までの遅れを取り戻し、ほぼ横ばいの235億19百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。利益面では、事業強化に向けたセキュリティ運用監視サービスのシステム刷新に伴う減価償却費などの負担増や、第2四半期までにシステムインテグレーションサービス事業で発生した不採算案件の影響を補えず、売上総利益は46億55百万円（同5.2%減）となりました。前年同四半期にあった統合関連費用がなくなったことや、その他営業費用など販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、営業利益は10億74百万円（同10.5%減）、経常利益は9億82百万円（同9.5%減）、四半期純利益は4億44百万円（同18.1%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における業績の前年同四半期比は次のとおりであります。

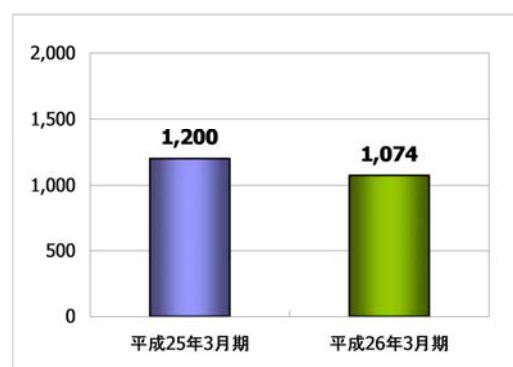
(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年12月31日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	23,386	23,519	132	0.6
売上原価	18,476	18,863	386	2.1
売上総利益	4,909	4,655	△253	△5.2
販売費及び一般管理費	3,708	3,580	△127	△3.4
営業利益	1,200	1,074	△125	△10.5
経常利益	1,086	982	△103	△9.5
四半期純利益	542	444	△98	△18.1

[連結売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[連結営業利益の前年同四半期比 単位:百万円]



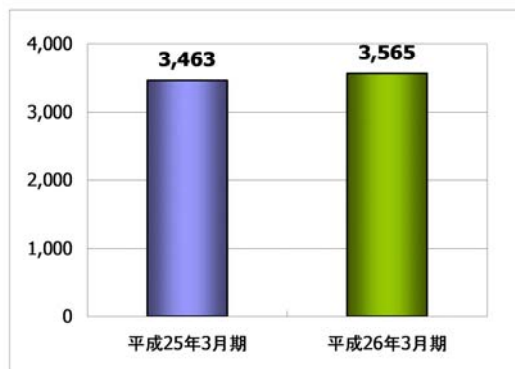
セグメントの業績は次のとおりであります。

セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

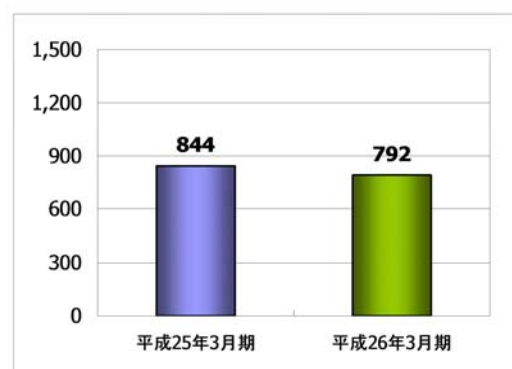
（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年12月31日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
セキュリティ コンサルティングサービス	1,448	1,216	△231	△16.0
セキュリティ 診断サービス	526	666	139	26.5
セキュリティ 運用監視サービス	1,488	1,682	193	13.0
売上高	3,463	3,565	101	2.9
セグメント利益	844	792	△52	△6.2

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



セキュリティコンサルティングサービスは、標的型サイバー攻撃などによるセキュリティ事故が後を絶たないなか、緊急対応サービスの受注は増加したものの、前年同四半期にあった海外拠点の一部案件がなかったことに加え、業務内容の変更による他事業部への一部業務移管などの結果、売上高は12億16百万円（前年同四半期比16.0%減）となりました。

セキュリティ診断サービスは、既存顧客のリピート案件や緊急対応サービスの提供を契機とする新規案件の受注が増加し、売上高は6億66百万円（同26.5%増）となりました。

セキュリティ運用監視サービスは、お客様のネットワーク環境の変更に伴う監視対象機器の集約などによる減少が一部にあったものの、不正侵入を前提に情報流出を防ぐ対策への意識の高まりなどから新規受注が増加し、売上高は16億82百万円（同13.0%増）となりました。

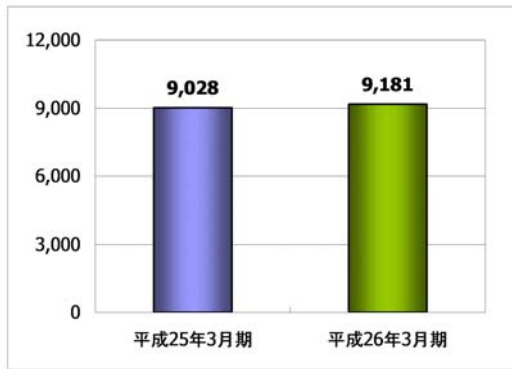
この結果、SSS事業の売上高は35億65百万円（同2.9%増）となりました。セグメント利益は、事業強化に向けたセキュリティ運用監視サービスのシステム刷新に伴う減価償却費などの負担増により、7億92百万円（同6.2%減）となりました。

システムインテグレーションサービス事業（S I S事業）

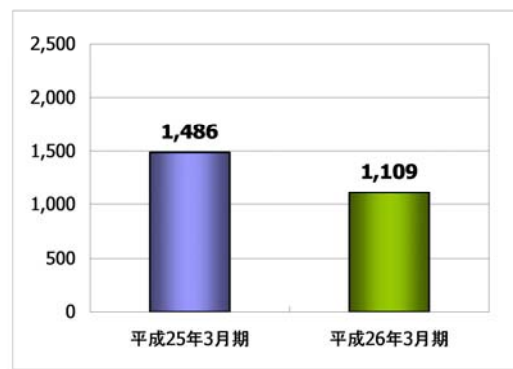
（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年12月31日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
開発サービス	9,028	9,181	152	1.7
売上高	9,028	9,181	152	1.7
セグメント利益	1,486	1,109	△376	△25.3

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



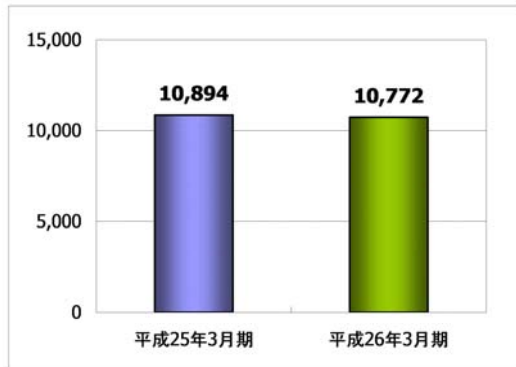
S I S事業の売上高は、開発サービスにおいて先送りされてきたシステム更新などの金融機関向け基盤系案件が引き続き好調に推移したことに加え、公共向け大型案件における当社担当領域の拡大により受注が増加し、91億81百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。セグメント利益は、第3四半期の利益率が改善したものの、第2四半期に発生したクレジットカード業向け大型統合案件の不採算による影響を補えず、11億9百万円（同25.3%減）となりました。

ディーラー事業

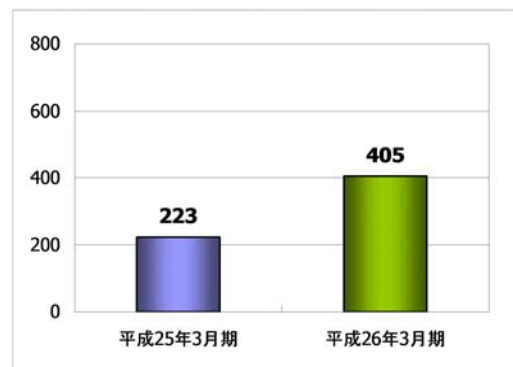
(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年12月31日)	前年同四半期比	
			増減額	増減比 (%)
HW/SW販売	4,886	4,265	△621	△12.7
IT保守サービス	5,564	6,083	518	9.3
ソリューションサービス	442	423	△19	△4.4
売上高	10,894	10,772	△121	△1.1
セグメント利益	223	405	181	81.4

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



HW/SW販売は、金融業やネット系サービス業向け案件など一部に受注の改善が見られたものの、引き続きクラウド活用の普及や最適なシステム構築の要請などから案件の減少や小型化が進み、売上高は42億65百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

IT保守サービスは、価格の低減要請があったものの、金融機関の営業店向けネットワーク機器更改案件が好調に推移し、売上高は60億83百万円（同9.3%増）となりました。

ソリューションサービスは、自治体向けシステム更新案件が引き続き順調に推移したものの新規受注が伸び悩み、売上高は4億23百万円（同4.4%減）となりました。

この結果、ディーラー事業の売上高は107億72百万円（同1.1%減）となりました。セグメント利益は、保守案件の収益率が大幅に改善されたことにより、4億5百万円（同81.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億45百万円減少し、179億5百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少12億45百万円、仕掛品の増加4億4百万円、前払費用の増加4億26百万円、流動資産「その他」に含まれております繰延税金資産の減少3億68百万円、のれんの減少3億44百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ16億70百万円減少し、113億86百万円となりました。これは主に短期借入金の増加3億80百万円、前受収益の増加6億33百万円、流動負債「その他」に含まれております未払金の減少6億21百万円、長期借入金の減少15億92百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億24百万円増加し、65億18百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加1億14百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億87百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は36.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の実績は記載のとおりであります。平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月15日の決算短信で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,560,094	3,415,337
受取手形及び売掛金	5,013,017	3,767,849
商品	240,628	223,053
仕掛品	111,534	515,754
貯蔵品	1,494	20
前払費用	2,508,228	2,934,250
その他	834,268	625,748
流動資産合計	12,269,266	11,482,014
固定資産		
有形固定資産	1,026,509	944,667
無形固定資産		
のれん	2,447,225	2,103,084
その他	1,619,846	1,292,395
無形固定資産合計	4,067,071	3,395,480
投資その他の資産		
繰延税金資産	456,695	339,098
その他	1,431,371	1,743,827
投資その他の資産合計	1,888,067	2,082,925
固定資産合計	6,981,648	6,423,073
資産合計	19,250,915	17,905,087
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,054,660	1,859,036
短期借入金	200,000	580,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,031,000	2,006,000
未払法人税等	140,977	116,174
前受収益	2,525,517	3,159,073
賞与引当金	73,716	60,389
受注損失引当金	19,572	31,875
その他	1,970,241	1,195,942
流動負債合計	9,115,686	9,108,491
固定負債		
社債	50,000	—
長期借入金	3,723,000	2,130,750
退職給付引当金	75,638	85,115
負ののれん	549	—
その他	91,403	61,887
固定負債合計	3,940,591	2,277,752
負債合計	13,056,277	11,386,243

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	3,622,860	3,622,959
利益剰余金	1,856,299	1,970,568
自己株式	△331,914	△333,239
株主資本合計	6,147,244	6,260,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,854	190,560
為替換算調整勘定	19,168	55,537
その他の包括利益累計額合計	22,023	246,098
少数株主持分	25,369	12,457
純資産合計	6,194,637	6,518,843
負債純資産合計	19,250,915	17,905,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	23,386,292	23,519,015
売上原価	18,476,730	18,863,096
売上総利益	4,909,561	4,655,919
販売費及び一般管理費	3,708,610	3,580,947
営業利益	1,200,950	1,074,972
営業外収益		
受取利息	200	1,147
受取配当金	1,342	1,342
負ののれん償却額	1,649	549
保険解約返戻金	6,873	—
その他	11,030	8,490
営業外収益合計	21,095	11,529
営業外費用		
支払利息	68,353	44,445
為替差損	11,911	21,758
支払手数料	51,350	33,151
その他	3,900	4,162
営業外費用合計	135,515	103,518
経常利益	1,086,530	982,983
特別利益		
投資有価証券売却益	—	246
負ののれん発生益	59,478	—
特別利益合計	59,478	246
特別損失		
固定資産売却損	—	531
固定資産除却損	19,127	5,199
減損損失	27,956	—
その他	387	—
特別損失合計	47,471	5,730
税金等調整前四半期純利益	1,098,537	977,499
法人税、住民税及び事業税	91,382	153,085
法人税等調整額	460,686	382,045
法人税等合計	552,069	535,130
少数株主損益調整前四半期純利益	546,468	442,369
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,051	△1,803
四半期純利益	542,417	444,173

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	546,468	442,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52,616	187,706
為替換算調整勘定	18,286	38,175
その他の包括利益合計	△34,330	225,881
四半期包括利益	512,138	668,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	507,118	668,248
少数株主に係る四半期包括利益	5,020	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	セキュリティソリューションサービス事業	システムインテグレーションサービス事業	ディーラー事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3,463,979	9,028,287	10,894,025	23,386,292	—	23,386,292
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,463,979	9,028,287	10,894,025	23,386,292	—	23,386,292
セグメント利益	844,979	1,486,438	223,516	2,554,934	△1,353,983	1,200,950

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,353,983千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「セキュリティソリューションサービス事業」セグメントにおいて、想定した収益が見込めなくなった事業用ソフトウェアの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、第2四半期連結会計期間においては27,956千円であります。

なお、第1四半期連結会計期間および当第3四半期連結会計期間においては該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、「ディーラー事業」セグメントの一部を「システムインテグレーションサービス事業」セグメントへ変更したことに伴い、のれんの一部についてセグメントの変更を行っております。当該事象による「ディーラー事業」におけるのれんの減少額は968,693千円であり、「システムインテグレーションサービス事業」においては、同額ののれんが増加しております。

なお、第2四半期連結会計期間および当第3四半期連結会計期間においては該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「ディーラー事業」セグメントにおいて、アイ・ネット・リリー・コーポレーション株式会社の株式を取得したことにより、負ののれん発生益が生じております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、第1四半期連結会計期間においては59,478千円であります。

なお、第2四半期連結会計期間および当第3四半期連結会計期間においては該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	セキュリティソリューションサービス事業	システムインテグレーションサービス事業	ディーラー事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3,565,668	9,181,170	10,772,176	23,519,015	—	23,519,015
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	45,742	78,189	123,931	△123,931	—
計	3,565,668	9,226,913	10,850,365	23,642,947	△123,931	23,519,015
セグメント利益	792,975	1,109,675	405,430	2,308,081	△1,233,109	1,074,972

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,233,109千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。